

にいがた 緑百年物語

第13号〈秋号〉



5年目をむかえた緑の百年物語をおもう

緑ゆたかな地球をめざそう にいがた緑の百年物語理事長 伊藤 文吉

特集 動き出した緑の復興

- 防災機能から癒しとしての緑への眼差し 青山 清道
- 赤城コマランドがかじりついた石 山川 成雄
- 7.13水害後の公園づくりと大山桜並木の保全再生の取組み 関根 依智朗
- 仮設住宅の陽だまりベンチ(小千谷市千谷) 江添 武

- 歴史トピックス イヌシデ自然林 小林 正吾
- なるほどトピックス 松の抵抗性 伊藤 信治

緑百年物語
100
GREEN, One hundred.
Niigata

にいがた緑百年物語 会報
2005〈秋号〉vol.13

特集

ロマンと冒険の森の復興にむけて 赤城コマランドがかじりついた石



赤城コマランド
世話役

山川成雄

長岡駅から東へ約5キロ。遠く鋸山に連なる栖吉の里山は、田んぼと雑木林が入り組んで、昔ながらの懐かしい風景を随所に残しています。この谷あいの牧場に囲まれて赤城コマランドの森は、ぱつかりと牧草地に浮かんでいます。我々は、この三万坪の雑木林の中で五年前からロマンと冒険の森づくりを続けています。



子ども達のリクエストで
シーソー作り。

現代の里山は荒れ果てていて人が立ち入ることも出来ません。そこで敷を払い、枯れ木を倒し、間伐と植林を行つて里山の再生も進めています。みんなで楽しく遊んでいたら、いつの間にか人も森も大きく育つていたという、そんな軽い運動をめざしています。

中越大震災は、これまで順調に育つてきたコマランドを根底から揺り動かしました。みんなで作ったツリーハウスやログハウス、車椅子用トイレや資材倉庫などが倒壊したり、大きく傾いたりしました。更に植林地は地盤全体が陥没して、至る所に亀裂と段差が生じて背丈まで伸びた木々を将棋倒しにしてしまいました。

被災直後から我々はコマランドへの登頂を試みていました。どの道も土砂崩れで寸断され、やつと現地入りできたのは震災三日

の上でのみでした。それでも止まない余震に木々が壊滅していく中、遊び場の瓦礫の上に、我々はこの秋の植樹会実施を決定しました。これまで欠かさずやつてきた“みんなで楽し木を植える行事”こそが我々の運動の原点であり、石にかじりついてもこれを続けることが、コマランドの復活につながると誰もが確信していました。

その後被災の記録を千五百名のコマランダーに送つて支援を要請し、十一月末の植樹会に合わせて施設の修復に取り組みました。我々も家庭や職場で被災していく中、図書館や至小千谷市立図書館へも支援金とボランティアの協力を得て、何とか期日まで修理を完了させました。一ヶ月遅れの第八回植樹会は初冬の冷

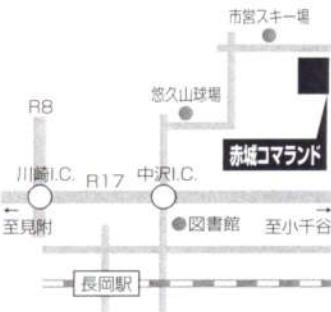


第8回植樹会で寒さにふるえながらバウムクーヘンを焼く。

後でしまった。止まない余震に木々が壊滅していく中、遊び場

たい時雨をついて敢行しました。仮復旧の作業道路を通り、百五十名のコマランダーが復興を遂げたコマランドに登り、万感の思いを込めて植樹を行なうことが出来ました。

その後のコマランドは、まるで最初から何事も無かつたかのような風情で牧草地に佇んでいます。あれから冬の縄文体験、春の植樹会、育樹祭、夏の縄文体験と大きなイベントを難なくこなし、最近では小中学校やボーリングスクール、子供会、コンサートの若者達まで押しよせて来て、コマランドは空前の活況を呈しています。無料開放で一銭にもなりませんが、ロマンと冒険の森づくりは確実に進展しています。あの時、踏ん張つてよかつたと今でも思っています。





元気だしいこー！新潟

○ 「災害復興緑の支援事業」を新設しました！

『にいがた「緑」の百年物語』では、平成17年度より、昨年の中越大震災及び7.13豪雨災害の被災地の緑の復興を目的とした樹木による緑化活動や、被災された方々の心の癒しを目的とした草花による緑花活動を支援するため、「災害復興緑の支援事業」を新設しました。

《主な助成内容》

対象地	加茂市、三条市、長岡市、小千谷市、栃尾市、見附市、与板町、和島村、出雲崎町、川口町、魚沼市、南魚沼市、塩沢町、十日町市、津南町					
対象者	地域住民、ボランティア団体、法人・企業、学校等で構成される団体					
助成型	樹木による緑化活動（上限50万円）		草花による仮設住宅等の周辺 緑花活動（上限20万円）			
	ア 経費助成型	イ 苗木等助成型				
対象経費 助成率	環境整備費 活動費 苗木等購入費 啓発看板購入費	10/10 10/10 1/2 10/10	環境整備費 活動費 苗木等購入費 啓発看板購入費	1/2 1/2 10/10 10/10	環境整備費 活動費 花苗等購入費 啓発看板購入費	10/10 10/10 10/10 10/10

※8月25日現在、募集枠が若干ありますので、助成を希望される方は、お気軽に当委員会事務局（TEL：025-290-8055）までお問合せください。

詳細は、当委員会HP（<http://www.midori100.com>）にも掲載しております。

《平成17年度助成団体》（8月25日現在）

◇栄町ブナの会（三条市）

◇山本山千本桜の会（小千谷市）

◇繁窪・緑百年物語（栃尾市）

◇赤城コマランド（長岡市）

◇長岡市高町1、2丁目町内会（長岡市）

計：5団体

○ 「みどりの感謝祭」～新潟県中越地震被災地復興緑化用苗木の特別贈呈～

4月29日（みどりの日）に、東京の日比谷公園で開催された「第16回森と花の祭典 みどりの感謝祭」（主催：農林水産省・林野庁ほか、名誉総裁：秋篠宮殿下）にて、中越地震被災地復興緑化用苗木の特別贈呈式が行われました。

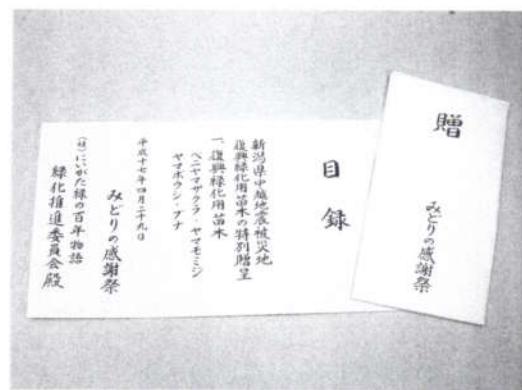
苗木は、感謝祭への協賛金の一部からいただいたもので、当日は、被災地を代表して、小千谷市の「真人緑の少年団」の代表2名に出席していただき、林野庁長官から苗木の目録と記念苗木（鉢植え）の贈呈を受けました。

贈呈苗木：ベニヤマザクラ、ヤマモミジ、ヤマボウシ、ブナ

いただいた苗木は、被災地の復興緑化に有効に活用させていただきます。



みどりの感謝祭式典会場にて記念撮影（真人緑の少年団）



贈呈苗木の目録